

第 84 回機器・配管系検討会 議事録

1. 日 時 2022 年 12 月 27 日 (火) 10 : 00~11:40

2. 場 所 一般社団法人 日本電気協会 4 階 A 会議室 (Web 会議併用)

3. 出席者 (順不同、敬称略)

出席委員 : 中村主査(東京都市大学)、古屋副主査(東京電機大学)、藤田(東京電機大学)、
野元幹事(関西電力)、行徳副幹事(日立 GE ニュークリア・エンジニア)、
上屋(日本原子力発電)、南保(北海道電力)、波木井(東京電力 HD)、
小江(原子力エンジニアリング)、田村(中国電力)、池田(九州電力)、
大口(電源開発)、工藤(富士電機)、小関(原子燃料工業)、齋藤(電力中央研究所)、
宮崎(日本原子力研究開発機構) (計 16 名)

代理出席者 : 松浦(東北電力、秋葉委員代理)、久保田(中部電力、尾西委員代理)、
松田(北陸電力、辰尾委員代理)、川幡(東芝エネルギーシステムズ、樋口委員代理)、
松岡(三菱重工業、吉賀委員代理) (計 5 名)

常時参加者 : なし (計 0 名)

オブザーバ : 日比野 (原子力規制庁) (計 1 名)

説明者 : なし (計 0 名)

欠席委員 : 渡邊委員(埼玉大学)、村上(四国電力) (計 2 名)

事務局 : 米津、田邊(日本電気協会) (計 2 名)

4. 配付資料

- | | |
|--------------|---|
| 資料 No.84-1 | 第 83 回機器・配管系検討会 議事録 (案) |
| 資料 No.84-2 | 原子力規格委員会耐震設計分科会 機器・配管系検討会委員名簿 |
| 資料 No.84-3-1 | JEAG4601-2015[2016 年追補版] (SA-JEAG) の改定方針について |
| 資料 No.84-3-2 | JEAG4601-2015[2016 年追補版] (SA-JEAG) の概要 |
| 資料 No.84-3-3 | JEAG4601-2015[2016 年追補版] (SA-JEAG) の改定に向けたアンケート |
| 資料 No.84-4 | NRA「建物・構築物の免震構造に関する審査ガイド」及び ATENA「重大事故等対処施設免震構造設計ガイドライン」の概要と JEAG4601-2015 [2016 年追補版] への反映について |
| 資料 No.84-5 | JEAC4601 技術評価に向けた対応について |

5. 議事

事務局から、本検討会にて私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認の後、議事が進められた。

(1) 資料の確認、代理出席者・オブザーバの承認等

事務局から配付資料の確認の後、代理出席者 5 名の紹介があり、分科会規約第 13 条 (検討会) 第 7 項部基づき主査の承認を得た。確認時点で出席者は代理出席者を含めて 21 名で、検討会決議条件である分科会規約第 13 条 (検討会) 第 15 項に基づき、委員総数 23 名に対し決

議に必要な「委員総数の3分の2以上の出席(16名以上)」を満たしていることを確認した。

また、オブザーバの紹介があり、主査の承認を得た。

(2) 前回議事録(案)の確認

事務局から資料 No.84-1 に基づき、前回議事録(案)の紹介があり、一部修正の後、正式議事録にすることについて、分科会規約第13条(検討会)第15項に基づき、Webの挙手機能にて決議の結果、承認された。

(3) 新委員の紹介

事務局から資料 No.83-2 に基づき、下記委員の変更があるとの紹介があった。新委員候補については分科会規約第13条(検討会)第4項に基づき、次回耐震設計分科会で承認の予定である。

- ・ 退任予定 樋口委員(東芝エネルギーシステムズ)
- ・ 新委員候補 川幡氏(同左)

(4) JEAG4601-2015[2016 追補版](SA-JEAG)の改定方針について(審議)

野元幹事及び行徳副幹事他から資料 No.84-3-1~3-3 及び資料 No.84-4 に基づき、JEAG4601-2015[2016 追補版](SA-JEAG)の改定方針について説明を行い、Webの挙手機能にて決議の結果、承認された。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ アンケートは締め切りを1月20日とし、事務局で配布と回収を行う。
- ・ 期限内に提案までには至らないような懸案、課題事項の扱いについても記入できるような様式とする。
- ・ 免震に関連するガイド類(NRA、ATENA)について、SA-JEAGの中に取り込むのではなく、JEAG4614(免震JEAG)に取り込むというご提案ということでしょうか。
→ そのとおりである。
- ・ 免震JEAGは建物・構築物検討会と協調しながら進めていく予定である。
- ・ SA-JEAGの改定では免震は扱わずに、現在の対象施設の状態での改定事項の検討を進めていくということでしょうか。
→ その方針でいきたいと考えている。
- ・ いずれSA-JEAGをJEAC4601に統合する予定であることから、現時点ではSA-JEAGと免震とを分けておいた方が、今後の統合がやりやすいということか。
→ 個別具体的な技術検討はJEAC4601の本体なり、免震は免震JEAGにまとめているため、そちらの方で整理していくのが使いやすと考えている。
- ・ NRA、ATENAの免震設計に係るガイド類についての検討について、建物・構築物検討会と機器・配管系検討会の両者の分担や今後の具体的な検討予定は出来ているのか
→ 現状具体的な改定予定が定められているものではなく、電気協会の規格としてユーザーのニーズがあるかどうかという議論からスタートすると考えている。

(5) JEAC4601 技術評価に向けた対応について

野元幹事より、資料 No.83-5 に基づき、JEAC4601 技術評価に向けた対応について説明があった。

主な意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 議論の中で体制を増やす必要がある場合が考えられるが、そこは随時機動的にということ、委員のみなさまの協力をいただきながら対応していきたい。コアメンバーについては今後個別に声をかけさせていただく予定。次回体制の検討結果について報告したい。
 - ・ 電気協会の方針として説明者とは別の資料確認者を置くこととなっているが、関わっていない第三者の方ではなく、経緯を理解している委員の方に、資料が経緯に沿って作成されているかを確認してもらおうという意図である。
 - ・ 技術評価について機器・配管系検討会のメンバーが動くのはいつからいつまでか。
- 原子力規制委員会の資料から読み取ると令和6年度までということではないかと考えられる。
- ・ 機器・配管系検討会の分担する箇所が多いため、委員のみなさまからもぜひお力添えをいただけるようお願いする。

(6) その他

次回検討会については、事務局が調整後に各委員に連絡する。

以 上